

ディスプレイ型親機用ソフトウェア ユーザーズガイド<保守機能編>

品番 VH-M201

もくじ

■はじめに	2
はじめに	2
<保守機能編>に出てくる用語について	2
システム構成	2
保守機能の起動と終了	3
画面構成	3
■設定	4
設定の手順	4
定数設定を行う	4
プログラム設定を行う	
制御装置からの読み込み・書き込み・システム保存	5
プログラム設定の保存・読み込み	6
チーム設定を行う	
PSグループ番号の変更	8
パターンボタンの名称変更	9
ベッドレイアウト設定を行う	
1. 切替ボタンの設定	10
2. 部屋割りの設定	11
3. 固定表示の設定	12
4. 子機番号の変更	13
5. 登録操作	14
■バックアップデータの復元	15
個人情報データの復元	15
入院状況の復元	15
マスターデータの復元	15
■困ったとき	裏表紙

はじめに

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

「ディスプレイ型親機用ソフト」は、デジタルペア線ナースコールシステムに接続されたパソコンでの、着信表示、およびタッチパネルディスプレイによる選局操作、各種設定用のソフトウェアです。

本書は、「ディスプレイ型親機用ソフト」の初期設定や中央制御装置のプログラム設定などを行う保守機能について説明しています。

インストール方法については …………… 「インストールマニュアル」

操作方法については …………… 「ユーザズガイド<操作編>」

を参照してください。

著作権について

Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の登録商標または商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

<保守機能編>に出てくる用語について

●<保守機能編>をお読みいただく前に理解しておいていただきたい用語です。

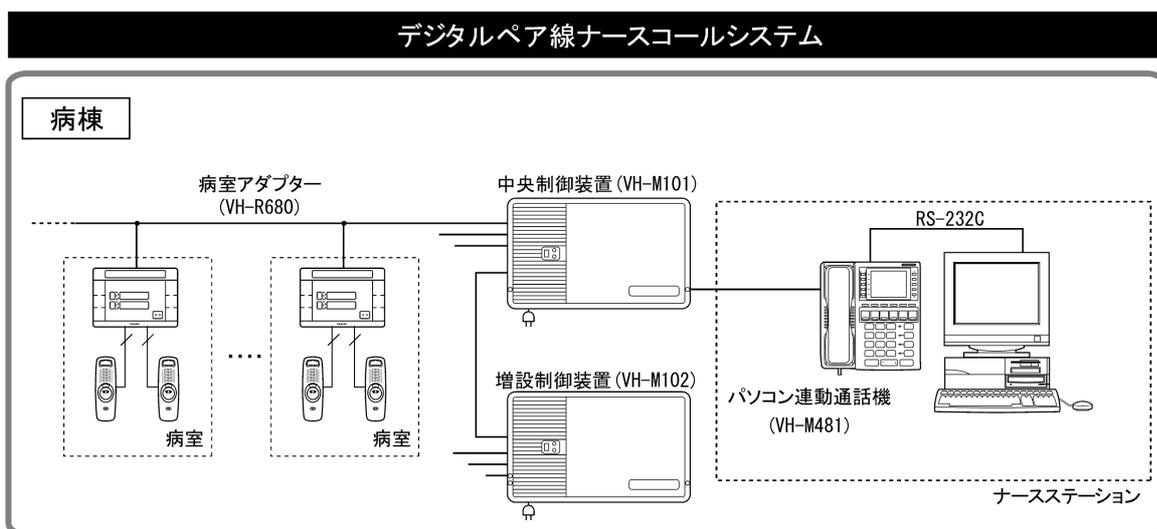
パソコン …………… WindowsNT と本ソフトウェアがインストールされたパソコン本体を指します。
パソコンの操作などについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。

親機 …………… パソコン連動通話機、ナースコール通話機を指します。
パソコン連動通話機は、パソコン本体に接続しています。
ナースコール通話機は、ナースコールシステムに接続しています。
パソコン連動通話機とナースコール通話機の外観と操作のしかたは同じです。
詳しくは、ナースコールシステムの取扱説明書を参照してください。

PS …………… コードレス通話機。

中央制御装置 …… デジタルペア線ナースコールシステムの中央制御装置 (VH-M101)。

システム構成



保守機能の起動と終了

●起動のしかた

1. パソコン本体の電源を入れる。(使用しているパソコンの取扱説明書を参照してください。)
2. スタートメニューから「プログラム」－「ディスプレイ型親機用ソフト」－「保守」を選択すると、ソフトウェアが起動し、保守機能のメニュー画面が表示されます。

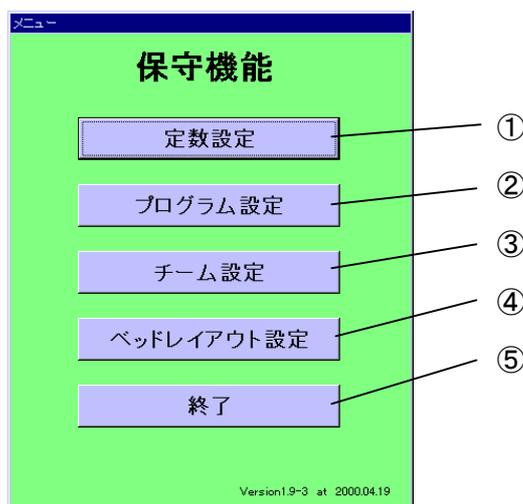
●終了のしかた

1. メニュー画面の「終了」ボタンをクリックする。

画面構成

●メニュー画面

保守機能起動後は、メニュー画面を表示します。設定時には各画面が表示されます。

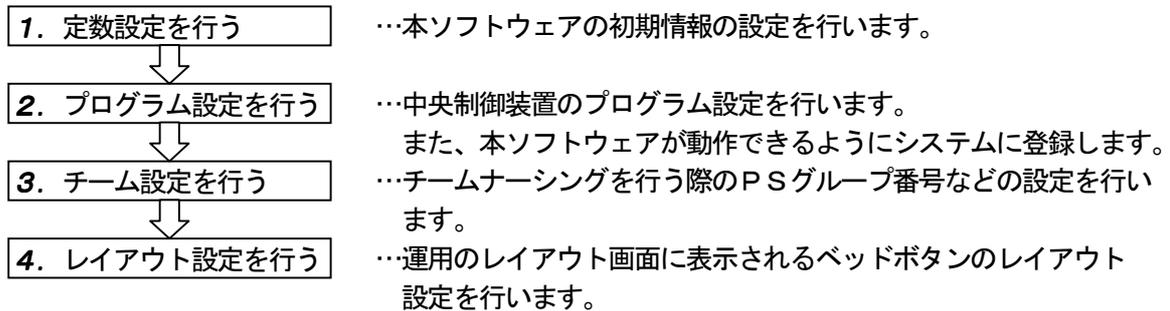


- | | |
|----------------|--|
| ①定数設定ボタン | : チームナーシングの有無やパスワード入力の有無などの初期設定を行います。(4ページ) |
| ②プログラム設定ボタン | : 中央制御装置のプログラム設定の読み込み、書き込みを行います。(5ページ) |
| ③チーム設定ボタン | : チームごとに実際に呼び出されるPSのグループ番号やパターンボタンの表示文字などを設定します。(8ページ) |
| ④ベッドレイアウト設定ボタン | : 運用画面に表示されるベッドボタンのレイアウトを設定します。また、固定表示文字を設定します。(10ページ) |
| ⑤終了ボタン | : 保守機能を終了します。 |

設定

設定の手順

「ディスプレイ型親機用ソフト」(本ソフトウェア)の初期設定は、以下の手順で行います。



定数設定を行う

●使用したい機能に従って、チームナーシングの有無やパスワード入力の有無などの初期設定を行います。

1. メニュー画面(3ページ)の「定数設定」ボタンをクリックする。

画面 : 定数設定画面を表示します。

2. 各項目の入力を行う。

項目	項目説明
病院名称	病院名称を設定。
チームナーシング有無設定	コードレス電話機を使用したチームナーシングの有無を設定。 チームナーシング無しに設定すると、運用時のメニュー画面の「呼出チーム」「PSグループ」ボタンが無効になり、設定できなくなります。
PSチーム設定	チームナーシングを行う際のチーム数を設定。(0~8) 設定したチーム数分のチームボタンが、運用時のチーム設定画面やPSグループ設定画面で有効になります。

項目	項目説明
パソコン連動通話機情報設定	接続される親機の親機番号を設定。 本ソフトウェアがインストールされたパソコンが「親機1に接続」の場合、パソコンからの夜間転送設定が不可になります。
パスワード有無設定	個人情報画面などを表示する際のパスワード入力画面の表示有無を設定。(パスワードの初期値は“0000”です。)
B/K 端子着信優先度区分設定	中央制御装置のプログラム設定 (No.13-2) に合わせて設定。 注) この設定が中央制御装置の設定とずれると、運用時のポップアップ画面の表示が親機の表示とずれることになります。
ポップアップ画面表示有無設定	着信時のポップアップ画面の表示有無を設定。
敬称設定	ベッドボタンに表示する敬称(「様」・「殿」・無し)を設定。
オプション名称設定	オプション着信時の詳細内容を設定。(全角10文字まで)
看護区分名称設定	ベッドボタンなどに表示する看護区分の表示文字を設定。 (全角2文字まで)

3. 「登録」ボタンをクリックして設定登録を行う。

お知らせ：・登録操作を行わないと設定が有効になりません。最後に必ず「登録」ボタンをクリックしてください。

4. 「閉じる」ボタンをクリックして、定数設定画面を終了する。

画面：メニュー画面に戻ります。

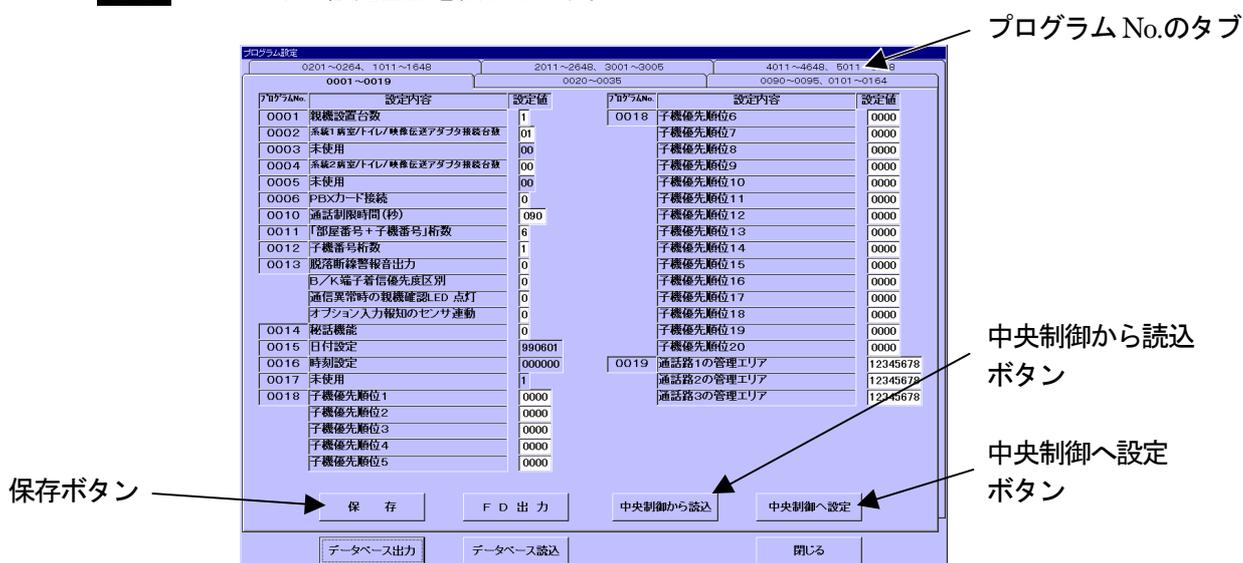
プログラム設定を行う

- 中央制御装置からのプログラム設定の読み込みや、パソコンからプログラム設定の書き込みを行います。また、プログラム設定内容をシステム(本ソフトウェア)に保存します。

制御装置からの読み込み・書き込み・システム保存

1. メニュー画面(3ページ)の「プログラム設定」ボタンをクリックする。

画面：プログラム設定画面を表示します。



2. 「中央制御から読込」ボタンをクリックして、現在のプログラム設定値を読み込む。

画面：読み込み中である旨のメッセージが表示されます。

お知らせ：・設定値の読み込みは、表示している画面（ページ）ごとに行われます。
・読み込み時間が、データ量に応じて数分かかることがあります。

3. システム構成に従い、各プログラム No.の設定値を入力します。

お知らせ：・プログラム No.3、5、15、16、17は、入力できません。
・プログラム設定値の詳しい内容は、「ナースコールシステム 取付工事説明書」の「プログラム番号と設定内容説明」を参照してください。

4. 「中央制御へ設定」ボタンをクリックして、設定値を中央制御装置に設定する。

画面：設定中である旨のメッセージが表示されます。

お知らせ：・中央制御装置への設定は、表示している画面（ページ）ごとに行われます。
・書き込み時間が、データ量に応じて数分かかることがあります。

5. 「保存」ボタンをクリックして、システムに設定を保存する。

お知らせ：・保存は、ページごとに必ず行ってください。

6. プログラム No.のタブをクリックしてページを切り替え、上記2.～5.を繰り返す。

お知らせ：・プログラム設定の読み込みや書き込みは、プログラム No.の小さい順に行ってください。

7. 「閉じる」ボタンをクリックして、プログラム設定を終了する。

画面：レイアウト画面に戻ります。

プログラム設定の保存・読み込み

中央制御装置のプログラム設定をプリントアウトしたい場合や、登録内容を一時的に保存して中央制御装置との接続環境が整ったときにプログラム設定を行う場合には、以下の手順でプログラム設定情報の保存や読み込みを行います。

<プリントアウトしたい場合>

プリントアウトしたい場合は、プログラム設定情報をフロッピーディスクに保存し、Excelなどのアプリケーションソフトを使用して印刷を行います。

1. フロッピーディスクドライブに、フォーマット済み（1.44MB）のフロッピーディスクをセットする。
2. 「FD出力」ボタンをクリックした後、確認ウィンドウの「OK」ボタンをクリックする。

お知らせ：・表示されている画面（ページ）のプログラム設定がフロッピーディスクに保存されます。
・保存されるファイルの形式は、CSV形式です。
・ファイル名は、「0001～0019.csv」のようにプログラム No.の範囲がつけられます。
・この形式で保存したプログラム設定は、再度システムに読み込むことはできません。

＜一時保存したい場合＞

登録したプログラム設定情報を一時的に保存したい場合は、プログラム設定情報を任意のフォルダに保存します。

1. 「データベース出力」ボタンをクリックする。

画面：保存ウィンドウが表示されます。



保存先のフォルダを指定

保存ファイル名を入力

2. 保存先のフォルダを指定する。
3. 任意のファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックする。

お知らせ：
 ・ファイル名は、自由につけて構いません。
 ・保存されるファイルの形式はMDB形式になります。
 ・保存されるデータは、すべてのプログラム設定情報になります。

＜一時保存したデータを読み込む場合＞

一時的に保存したプログラム設定情報を読み込む場合は、データファイルが保存されているフォルダを指定して読み込みを行います。

1. 「データベース読込」ボタンをクリックする。

画面：読込ウィンドウが表示されます。



読込先のフォルダを指定

ファイルを選択

2. データファイルが保存されているフォルダを指定する。
3. データファイル名を選択し、「開く」ボタンをクリックする。

お知らせ：
 ・必ず、本ソフトウェアで保存したファイルを指定して読み込んでください。
 ・読み込むファイルの形式はMDB形式です。

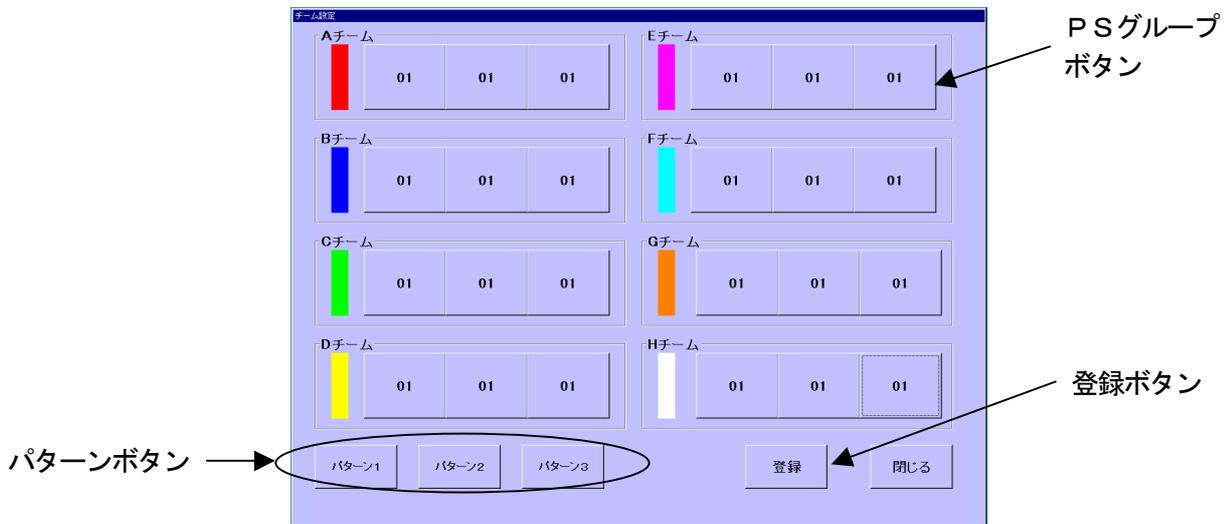
チーム設定を行う

- 運用時のチーム設定画面に表示されるPSグループボタンのグループ番号やパターンボタンの表示文字などを設定します。
呼び出しがあった場合、PSグループボタンに設定されたグループ番号のPS（コードレス電話機）に着信します。
チームナーシング機能を使用しない場合は、設定の必要はありません。

PSグループ番号の変更

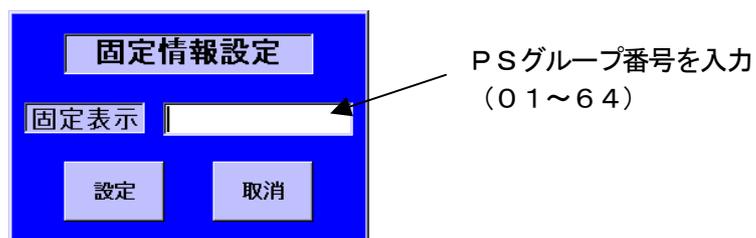
1. メニュー画面（4ページ）の「チーム設定」ボタンをクリックする。

画面：チーム設定画面を表示します。



2. PSグループ番号を変更したいグループボタンをクリックする。

画面：固定情報設定ウィンドウが表示されます。



お知らせ：・定数設定画面（4ページ）で設定したチーム数分しか選択できません。

3. PSグループ番号を2桁の数字で入力する。（01～64）

お知らせ：・必ず、PBX主装置に設定されるグループ番号を入力してください。
・複数のチームに同じグループ番号を登録することができます。
（呼び出しを1つのグループに集中させたい場合など）

4. 「設定」ボタンをクリックする。

画面 : PSグループボタンの表示文字が設定した内容に変わります。

- 「取消」ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

5. 上記2. ～4. を繰り返す。

6. 「登録」ボタンをクリックする。

お知らせ : ・設定後は必ず登録操作を行ってください。

7. 「閉じる」ボタンをクリックする。

画面 : メニュー画面に戻ります。

パターンボタンの名称変更

1. チーム設定画面で、変更するパターンボタンをクリックする。

画面 : 固定情報設定ウィンドウが表示されます。



表示文字を入力
(全角6文字まで)

2. パターンボタンに表示させたい文字を入力する。(全角6文字まで)

例) 「昼勤」、「準夜」、「夜勤」など

3. 「設定」ボタンをクリックする。

画面 : パターンボタンの表示文字が設定した内容に変わります。

- 「取消」ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

4. 上記2. ～3. を繰り返す。

5. 「登録」ボタンをクリックする。

お知らせ : ・設定後は必ず登録操作を行ってください。

6. 「閉じる」ボタンをクリックする。

画面 : メニュー画面に戻ります。

ベッドレイアウト設定を行う

- 運用時のレイアウト画面に表示されるベッドボタンの表示有無を設定します。また、ページの切替ボタンの表示有無、表示内容を設定します。

以下の手順で、ベッドレイアウト画面を設定します。

1. 切替ボタンの設定
2. 部屋割りの設定
3. 固定表示の設定
4. 子機番号の変更（必要である場合のみ）
5. 登録操作

1. 切替ボタンの設定

運用時のレイアウト画面に複数のページを持たせたいときに切替ボタンの設定を行います。ベッドボタンの表示が1ページに納まる場合は、設定の必要はありません。

1. メニュー画面（4ページ）の「ベッドレイアウト設定」ボタンをクリックする。

画面：ベッドレイアウト設定画面を表示します。



2. 「切替ボタン名称設定」ボタンをクリックする。

画面：切替ボタン名称設定ウィンドウが表示されます。

切替ボタン名称設定

切替1 <input style="width: 80%;" type="text"/>	切替4 <input style="width: 80%;" type="text"/>
切替2 <input style="width: 80%;" type="text"/>	切替5 <input style="width: 80%;" type="text"/>
切替3 <input style="width: 80%;" type="text"/>	切替6 <input style="width: 80%;" type="text"/>

3. 切替ボタンに表示させたい文字を入力する。(全角6文字まで)

お知らせ：・「切替1」に入力した内容が画面上一番左の切替ボタンに表示されます。
・文字入力した切替ボタンだけ、運用時のレイアウト画面に表示されます。

4. 「設定」ボタンをクリックする。

- 「取消」ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

2. 部屋割りの設定

運用時のレイアウト画面に表示されるベッドボタンの配置と部屋番号を設定します。
中央制御装置のプログラムに設定された機器構成に従って設定を行ってください。

1. 同一の部屋にしたいベッドボタンをクリックする。

画面：クリックしたベッドボタンが赤色に変わります。



- お知らせ：・歯抜けにベッドボタンを選択しても同一部屋に設定できません。
また、たて列を2列にまたいで設定できません。必ずたて列で、連続するように選択してください。
- ・プログラム設定 (No. 1 2) の子機番号桁数設定が1桁の場合は10個まで、2桁の場合は13個 (1列分) まで同一の部屋に設定できます。

- 選択した後、もう一度そのベッドボタンをクリックすると赤色表示が元に戻り、選択が解除されます。

2. 「部屋設定」ボタンをクリックする。

画面：部屋情報設定ウィンドウが表示されます。

部屋情報設定

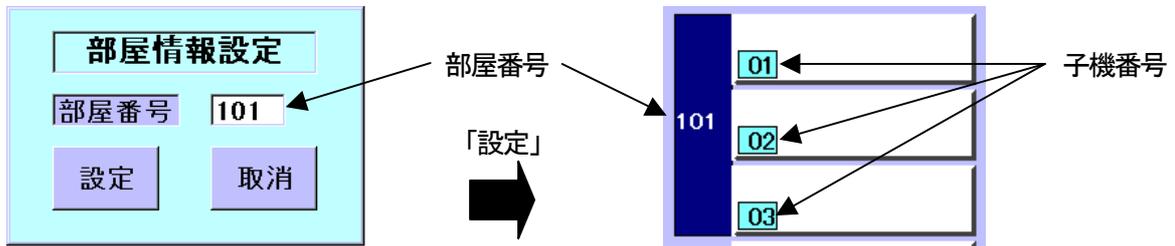
部屋番号

設定

取消

3. 部屋番号を入力後、「設定」ボタンをクリックする。

画面 : 部屋情報設定ウィンドウが消去し、ベッドボタンの左側に部屋割りの縦棒が表示されます。子機番号が上から順に自動的に振られます。



お知らせ : ・ 部屋番号は4桁までの数字で入力します。
 ただし、プログラム設定で設定した部屋番号桁数以上は入力できません。
 ・ 中央制御装置に設定している部屋番号を入力してください。
 ・ 子機番号を変更する場合は、「子機番号の変更」(13ページ)を参照してください。

● 「取消」ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

4. 設定したい部屋の数だけ、上記1. ~ 3. を繰り返す。

<部屋割りを解除する場合>

1. すでに部屋割り設定されたベッドボタンをクリックする。

画面 : クリックしたベッドボタンが赤色に変わります。

2. 「部屋解除」ボタンをクリックする。

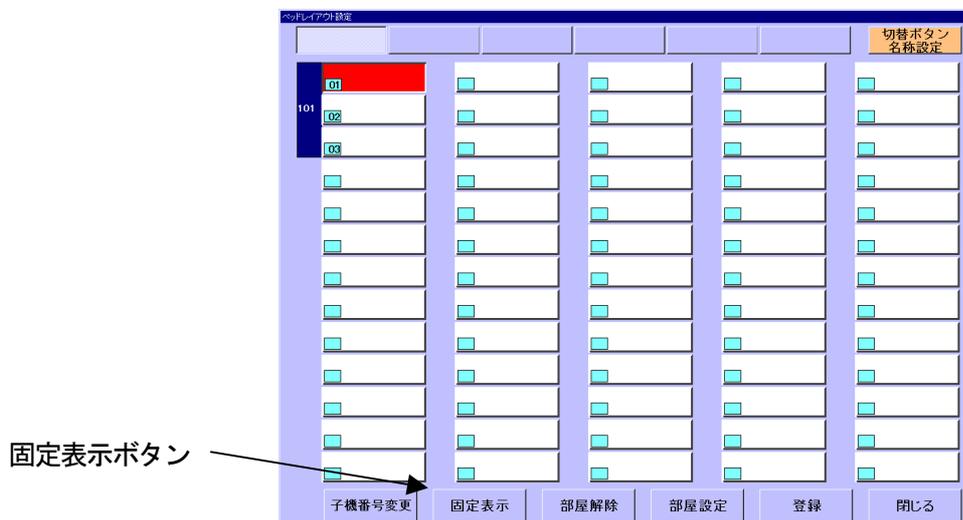
画面 : 部屋番号の表示が消去し、部屋割りの状態が元に戻ります。

3. 固定表示の設定

共用トイレなどベッド以外のベッドボタンを設定する場合、以下の手順で固定表示の設定を行ってください。固定表示設定するとベッド扱いではなくなり、入退院の設定などできないベッドボタンになります。(固定表示の設定は、すでに部屋割り設定したベッドボタンにのみ行うことができます。)

1. 固定表示にしたいベッドボタンをクリックする。

画面 : 選択したベッドボタンが赤色に変わります。



2. 「固定表示」 ボタンをクリックする。

画面 : 固定情報設定ウィンドウが表示されます。



3. ベッドボタンに表示したい固定文字を入力する。(全角7文字まで)

お知らせ : ・固定表示文字は、運用時のレイアウト画面では文字色が黒で表示されます。
 ・ベッドボタンに表示される文字は、5文字までは1行に、6文字以上は2行に(上4文字、した3文字)に表示されます。

4. 「設定」 ボタンをクリックする。

● 「取消」 ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

5. 設定したいベッドボタンの数だけ、上記1. ～4. を繰り返す。

4. 子機番号の変更

部屋割りの設定をすることによって、自動的に子機番号がつけられますが、子機番号を変更したい場合は以下の手順で変更してください。(中央制御装置のプログラム設定と合うように設定してください。)

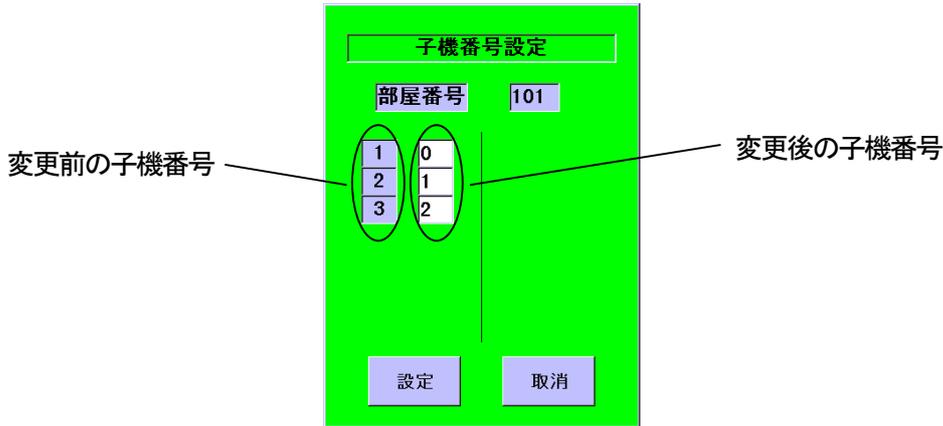
1. 子機番号を変更したいベッドボタンをクリックする。

画面 : 選択したベッドボタンが赤色に変わります。



2. 「子機番号変更」ボタンをクリックする。

画面：子機番号設定ウィンドウが表示されます。



3. 子機番号を変更する。

お知らせ：・中央制御装置のプログラム設定（No. 1 2）で、子機番号桁数が1桁に設定されている場合は1桁（0～9）で、2桁（00～99）に設定されている場合は2桁で入力します。（子機番号を重複して設定できません。）

・子機番号を“0”または“00”に設定すると、そのベッドボタンは単なる表示扱いになり、押せないボタンになります。部屋の名称などを表示したい場合に設定してください。

4. 「設定」ボタンをクリックする。

●「取消」ボタンをクリックすると、設定せずにウィンドウを閉じます。

5. 変更したい部屋の数だけ、上記1. ～4. を繰り返す。

5. 登録操作

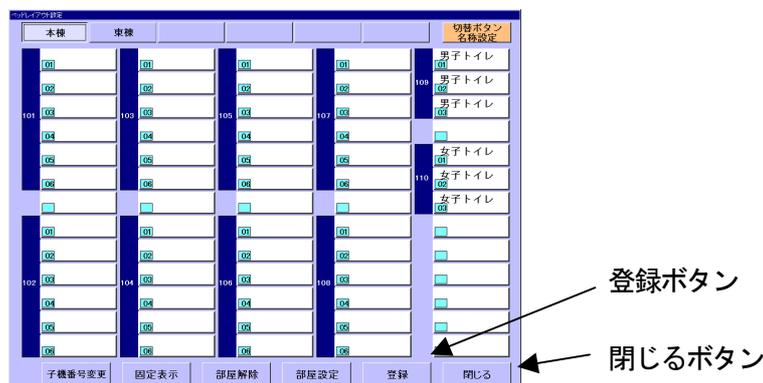
ベッドレイアウトの設定が完了した後、必ずシステムへの登録操作を行ってください。

1. 「登録」ボタンをクリックする。

お知らせ：・ベッドレイアウトがシステムに登録されます。

2. 「閉じる」ボタンをクリックする。

画面：メニュー画面に戻ります。



バックアップデータの復元

何らかの障害により、患者の個人情報などのデータが消去してしまった場合に、運用画面でバックアップ保存したデータをシステムに復元します。データの復元は、運用の画面にて行います。

(運用の画面での操作方法については、「ユーザズガイド<操作編>」を参照してください。)
システムへの復元は、「個人情報」 → 「入院状況」の順に行ってください。

個人情報データの復元

1. フロッピーディスクドライブに、個人情報をバックアップ保存したフロッピーディスクをセットする。
2. 個人情報設定画面の「FD読み」をタッチする。(「ユーザズガイド<操作編>」を参照)

3. 確認画面の「実行」をタッチする。

お知らせ：・フロッピーディスクに保存されていた個人情報がシステムに復元されます。

入院状況の復元

バックアップ保存した患者さんの入院状況をシステムに復元します。

1. フロッピーディスクドライブに、入院状況をバックアップ保存したフロッピーディスクをセットする。
2. 入退院設定画面の「FD読み」をタッチする。(「ユーザズガイド<操作編>」を参照)
3. 確認画面の「実行」をタッチする。

お知らせ：・フロッピーディスクに保存されていた入院状況がシステムに復元されます。
・入退院状況を復元するには、必ず、ペアで保存した個人情報の復元を行ってから行ってください。

マスターデータの復元

バックアップ保存したマスターデータをシステムに復元します。

1. フロッピーディスクドライブに、マスターデータをバックアップ保存したフロッピーディスクをセットする。
2. マスタ管理画面の「FD読み」をタッチする。(「ユーザズガイド<操作編>」を参照)
3. 確認画面の「実行」をタッチする。

困ったとき

●ソフトウェアが正常に動作しない

ソフトウェアに何らかの障害が発生し、正常に動作しなくなった場合、以下の対応（再起動）を試みてください。

1. ソフトウェアを終了し、パソコンの電源を切る。
ソフトウェアの終了→「保守機能の起動と終了／終了のしかた」（3ページ）を参照。
 2. 再度パソコンの電源を入れる。
 3. Windows 起動後、スタートメニューから保守機能を選択してください。
- 上記操作で、ソフトウェアが再起動します。

その後も正常に動作しない場合は、販売会社へご連絡ください。

●制御装置のプログラム設定の読み込み・書き込みに失敗する

パソコン連動通話機との接続が正常でないことが考えられます。

以下の対応を試みてください。

1. パソコン連動通話機からパソコンへのケーブルが抜けていないか確認する。
2. パソコン連動通話機の RS-232C 設定が正しくされていることを確認する。
(設定方法については、パソコン連動通話機の取扱説明書を参照してください。)

その後も正常に動作しない場合は、販売会社へご連絡ください。

AA0700-0
C8QA5541AN

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 ☎(045)932-1231 (代表)

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. (松下通信工業株式会社) 2000